

平成 27 年 2 月 10 日

全国農業協同組合連合会

「食農教育」と「農業」の関心度調査結果

全農は、小学生の親子を対象に「ひろがれ“弁当の日”全農親子料理教室」を平成 26 年度は、計 5 回開催し、親子 149 人に参加していただきました。このたび、その参加した保護者 74 人を対象に「食農教育」「農業」に関するアンケートを実施し、集約結果をまとめましたのでご報告いたします。

アンケートの主な結果

◇参加者全員が「食農教育」は必要だと考えていると回答。その目的を「子供に正しい食の知識（選択能力・味）を教えるため」と回答したのは 34.4%、「子供に日本の食べ物や農業の大切さを知ってもらうため」と回答したのは 27.4% になっており「食農教育」に対して深く理解していこうとする姿勢が感じられます。

◇「食農教育」を知るためには食や食材への関心を通して農業の大切さを認識していただきたいと考えています。子どもたちに農業の大切さを伝えていくためにどうすればよいかの問いでは、「料理を通して、米や野菜のできる過程や、おいしさを伝える」が 30.7%とトップになり、毎日の食事を通じて興味や理解を深めたいとする意向があらわれています。

別紙:全農親子料理教室に参加した小学生の子どもを持つ保護者 74 人の「食農教育・農業」への関心度調査結果



食材提供：

全農パールライス株式会社、JA全農青果センター株式会社、
全農チキンフーズ株式会社、JA全農たまご株式会社、
JA全農ミートフーズ株式会社、雪印メグミルク株式会社

「ひろがれ “弁当の日” 全農親子料理教室」とは

本会は「弁当の日」に賛同し、「ひろがれ “弁当の日” 全農親子料理教室」を主催して「弁当の日」の意義の啓発と食農食育に取り組んでいます。

「弁当の日」とは香川県の元中学校校長、竹下和男さんがはじめた取り組みで、子どもたち自身が弁当を作ることを通じて、家族のあり方や地域とのかかわりを見つめなおす試みです。

親子で一緒に料理をすることにより、食や食材の関心を通して農業の大切さを認識していただき、本会の役割及び全農グループ商品や地域の食材をPRし、国産農畜産物の消費拡大に努めています。

平成26年度は小学生を持つ親子を中心に、飯田橋レインボービルで149名が参加し、お弁当作りに挑戦しました。

メニューは、ご飯を中心に季節感や栄養のバランス、日本の伝統食などを取り入れることに配慮し、毎回組み立てられています。

料理は、お米を研ぐことから始まり、材料を切る、焼く、煮る、お弁当箱につめる、片付けまで一連の作業を全員が協力して行います。

教室では、本会のグループ各社や本会の職員から日本の農業、食材などの話や食育クイズをさせていただき、参加者に農業や食の大切さを伝えています。



↑先生の説明を聞く子どもたち



↑上手にひっくり返せるかな

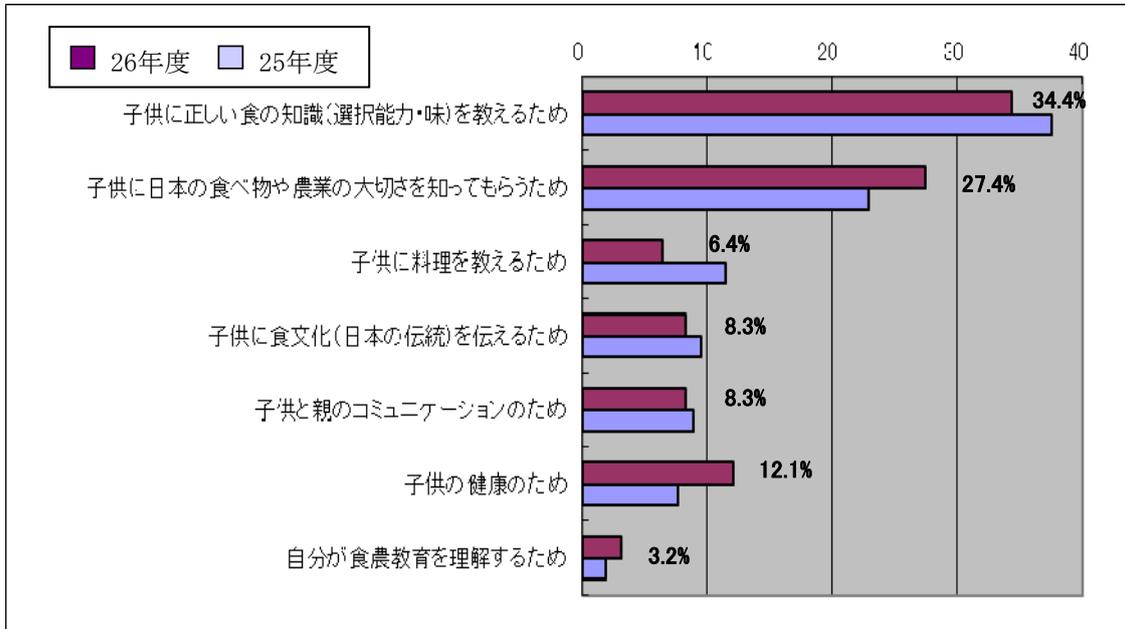


←猫の手で細かく切れるかな

別紙

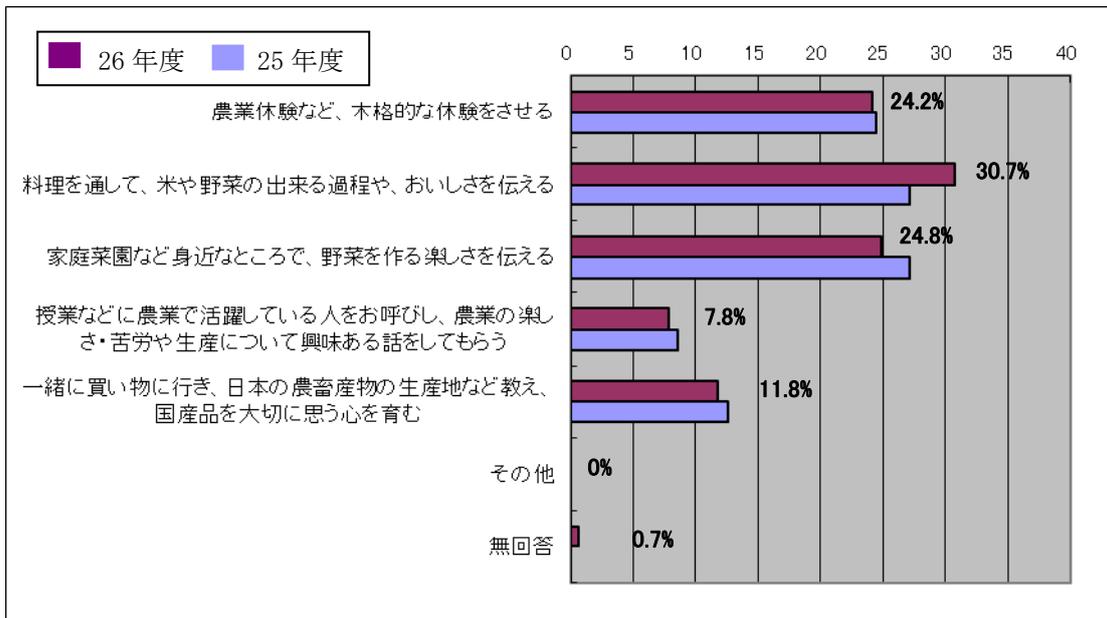


Q「食農教育」は必要だと回答したのは全員でした。
そこでなぜ「食農教育」が必要だと思いますか？
(回答選抜式)



「子どもに正しい食の知識を教えたい」とする人が 34.4%、「子供に日本の食べ物の大切を知ってもらいたい」とする人が 27.4%いることがわかり、「食農教育」に対して深く理解をしようとする姿勢が感じられます。

Q子どもたちに農業の大切さを伝えていくためには、どうすればいいと思いますか？ (回答選抜式)



「料理を通して、米や野菜のできる過程や、おいしさを伝える」が 30.7%と高く、毎日の食事で農業や食の大切さを伝えていこうと考えている傾向がみられます。

Q 保護者に伺いました。お子様の好きな野菜は？

	26年度	%	25年度	%
1位	トマト	21.0	じゃがいも	18.2
2位	さつまいも	15.5	トマト	17.4
3位	じゃがいも	13.9	さつまいも	15.0
4位	かぼちゃ	10.5	にんじん	9.9
5位	にんじん	8.8	ピーマン	8.3

家庭でよく調理しているものや当日の料理教室で調理した野菜が好きになったお子様も多いようです。子どもたちからは「嫌いな野菜も自分で料理したら食べられた」との声もあがっていました。



保護者たちが日頃の「食」や「農業」について感じていること、「料理教室」に参加した感想は次のような事柄でした。(アンケートよりそのまま抜粋)

- ◆同じ年代の子供達と一緒に料理することができ、子供も親も良い刺激を受けることが出来ました。食べ物の勉強もでき、有意義な時間を過ごせました。
- ◆今まで知らなかった事をわかりやすく説明して頂いて、本人も楽しんで取り組んでいました。親子のコミュニケーションも図れ、とても役立つ実りのある内容で満足です。
- ◆自分で作ると楽しくおいしく頂けるので、これをきっかけに食に興味を持ってくれるといいと思います。

参加した子どもたちからの感想は次のような事柄でした。
(アンケートよりそのまま抜粋)

- ◆今日作ったことを思い出しながら家でも作ってみたいです。これからは、好き嫌いせずに野菜を食べたいです。食べ物のありがたみを知ったので、大切に食べたいです。
- ◆料理も楽しかったし、クイズもおもしろかったです。いろいろな食材のこともわかり、勉強になることもたくさんあったので、とても役に立ちました。
- ◆食べ物は生き物の命をもらって、それを人間が食べて大きくなっているのので、感謝して食べないといけないと思いました。

全農は、「親子料理教室」などのイベントを通じて「食」や「農業」についての情報をお伝えし、安全・安心な国産農畜産物を消費者のみなさまへお届けしてまいります。